



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2024年4月23日

企業・団体名 株式会社ビレッジ・フィールド ふるりの風グループ

代表者名 代表取締役社長 村野秀治

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】 地域の人々が安心して生活を送れるように、貢献していく
	【実施状況】 ・介護サービスを通じて自宅で生活できるよう運動、食事、入浴、日常生活での援助・相談等の提供を行った。 ・販売業者と協力し、施設内で食料品・日用品等の販売を行い、買物難民問題に対する取組みを行った。 ・職員が地域住民向け健康教室の講師となり、介護予防・認知症予防について講演を行った。 ・職員が認知症の方を家族に持つ地域住民向けにストレスケア等の講演を行った。 ・地域の民生委員と協力し、地域の問題・困りごとなど解決・情報共有を図るため、定期面談を実施した。
2	【目標】 質の高い介護サービス提供のために、職員の質の向上を図る
	【実施状況】 ・介護サービスの質の向上のため、接遇研修、介護技術研修等、各種研修を行い、介護職員全員が介護関連の資格取得をし、職員のスキルアップを図った。 ・社外研修・講習の参加を促し、職員の資格取得を推奨した。 ・介護福祉士試験に新たに5名合格した。 ・消防局の救命講習会を受講しAED・心肺蘇生法の方法・振り返りを行った。
3	【目標】 職員が働きやすい職場環境を整備する
	【実施状況】 ・健康診断結果が再検査の職員に対する受診の促しを会社として推進し、受診率を上げた。 ・健康習慣アンケートを実施し、職員の生活習慣を把握・社内でフィードバック、職員の健康増進を図った。 ・ヨガ教室を会社で企画・実施し、職員の健康増進を図った。 ・社外企画のリレー大会やサッカーPK大会に参加し、職員の健康増進を図った。 ・育児の状況により、時短勤務や子連れ可能など、各職員に合った勤務を図った。 ・IOT化を推奨・導入し、記録や転記などの事務作業時間を削減し、職員の負担軽減を図った。 ・車椅子で乗降出来る福祉車両を増台することにより、職員の負担軽減を図った。

※宣言日(ウェブサイト掲載日)から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。